

第57号 人権だより

ぬくもり

東陽中学校区人権学習推進委員会
総会 令和6年6月2日(日)

令和6年7月15日
倉敷市東陽中学校区
人権学習推進委員会
事務局 茶屋町公民館
(TEL) 086-428-1315



＜参加者のご意見（抜粋）＞

資料も大変分かりやすくまとめてあり、よく理解できました。

今後の予定・関係資料・興味のある行事がたくさんあります。ぜひ参加したいと思います。

人権学習推進事業について、資料とプロジェクトを使い、大変分かりやすい説明でした。

人権相談 行政相談

お気軽に
ご相談ください

茶屋町支所にて
毎月第2水曜日
9:00~11:00



6月2日(日)9:30より大会議室で総会が開催されました。倉敷市教育委員会をはじめ、推進委員46名の参加があり、令和5年度事業報告・会計報告・監査報告、令和6年度事業計画案・会計案が協議され、承認されました。

＜東陽中学校区のテーマ＞
人にやさしいぬくもりのまちづくり
～キーワードは笑顔～

＜今年の課題＞
地域に根ざしたふれあいとあいさつの輪をひろめよう

- 組織を充実させ、組織力（機能の発揮）の向上を図る。
- 人権学習の具体的な展開を図る。



＜長佐 新会長 挨拶＞

本年度より2年間、児島前会長の後を受けまして、東陽中学校区人権学習推進委員会会長の大役を仰せつかりました長佐眞佐男と申します。

会長という大役がはたして私にできるのか不安な気持ちでいっぱいですが、ほかの役員様、事務局様、そして何より学区内の皆様のお助けをいただきまして、微力ながら地域の人権意識高揚のため頑張っていきたいと思っております。

ご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

令和6年7月15日
倉敷市東陽中学校区
人権学習推進委員会
事務局 茶屋町公民館
(TEL) 086-428-1315

第58号 人権だより

ぬくもり

令和7年2月15日
倉敷市東陽中学校区
人権学習推進委員会
事務局 茶屋町公民館
(TEL) 086-428-1315

令和6年度 人権学習研修視察 令和6年9月7日(土) 参加者26名
「国立療養所長島愛生園 BIZEN 中南米美術館」



＜長島愛生園での説明＞



＜邑久長島大橋（人間回復の橋）＞



＜中南米美術館での解説＞

今回の人権学習研修視察は、瀬戸内市邑久町の国立療養所「長島愛生園」と、備前市日生町の「BIZEN 中南米美術館」で実施しました。

ハンセン病の国立療養所である「長島愛生園」では、ハンセン病に対する正しい理解について説明を受けました。そして、偏見や差別をなくすために行われてきた、さまざまな取組や交流活動について、療養所内の施設を見学しながら研修しました。1988年に架けられた邑久長島大橋が「人間回復の橋」と呼ばれたように、困難と闘ってきた療養所の歴史と現状を学ぶことができました。

「BIZEN 中南米美術館」では、古代アステカ、マヤ文明などの考古学資料や美術品が展示され紹介されました。美術館の館長さんに、古代土器の特異な構造や王族が好んでいたチョコレートなどについて楽しく解説していただきました。

＜参加者の感想（抜粋）＞

今の世の中よりも差別・偏見ともに強い時代の隔離政策は、自分の想像よりもはるかに厳しいものだったのだと思いました。

施設の見学をして自分に置き換えて考えた時、どれだけつらく悲しい思いをされたのだろう、やはり、知ることは大切なことなのだと改めて感じました。コロナの時の最初の頃の偏見にもつながることだと思いますが、差別・偏見を無くすには（無くならないかもしれない）、繰り返し現実に起こった事を広く伝えていくことが大切だと思います。

館長の説明、愛生園、美術館の方の説明、どの方もわかりやすく、大変よかったです。

ハンセン病については、長い間、苦しんだ人たちにやっと光があり始めたとはいえ、まだまだ理解不足のため偏見があるので、こういう勉強会があちこちで必要だと思いました。

人権相談 行政相談

お気軽にご相談ください

茶屋町支所にて
毎月第2水曜日
9:00~11:00

人権教育講演会 令和6年9月21日（土）参加者約70名

「子どもたちの夢を背負って～私は“シェルパ”故郷に学び舎を～」

ホテルグランヴィア岡山～大阪ステーションホテル勤務

NPO法人ピーク・エイド ネパール教育プログラム担当（コーディネーター）

講師 ターパ・ゴダル・ウパカル 氏



＜参加者の感想（抜粋）＞

ネパールは“エベレスト、貧しい”というイメージだったが、カースト制度、教育格差など、様々な問題をかかえての現状だということが分かった。そんな中で世界一の山、エベレスト登山に例えて、学校の修復をはじめ、子どもたちに教育を受けさせる活動は、夢があって、素晴らしいと思う。ご自身を“シェルパ”に例えての活動は壮大で、責任、やりがい、夢が伝わってきた。

ウパカルさんは、2010年にネパールから来日して、苦学して日本語を習得し、大学を卒業されました。大学卒業後は、観光ホテル業界で活躍されています。それと同時に、故郷ネパールのボカラという街に小学校の新校舎を建設する活動に取り組まれ、2021年5月に小学校の校舎を完成させました。登山家の野口健さんらとNPO法人ピーク・エイドで協力して、思いを実現させたのです。その学校建設の経緯は、RSK山陽放送で特集番組として放送されました。今回の講演会では、許可をいただいてその番組を会場で上映した後、ご本人にお話ししていただきました。

日本での外国人に対する偏見、差別や、ネパールに残るカースト差別や貧困の問題についても、実体験を交えてご講演いただきました。

講演会の冒頭で、東陽中学校の生徒会の「古切手集めによる難民支援活動」へ感謝状を贈りました。



子どもたちにとって教育はとても大切なことです。ネパールの子どもたちが自ら学ぼうとする姿は、私たち大人にも必要な姿勢だと感じました。

この研修を通じて、私たちの出来ることは小さいかもしれません、続けていくことが大切だと感じました。これからも活動を応援しています。

茶屋町公民館 文化祭 令和6年11月2日（土）・3日（日）

スローガン「文化祭 笑顔広がる地域の和」 参加者のべ約620名



普段、茶屋町公民館で活動されているグループや公民館講座、コミュニティ協議会などの各種団体、そして、東陽中学校区のこども園、保幼小、中学校の皆さんとのご協力をいただき、文化祭を開催することができました。展示もステージ発表も、大変文化レベルの高い文化祭となりました。

＜アンケートから＞

・1日目は悪天候で参加者（や駐車場の係）の皆さんは大変だったと思います。防災非常食の試食はとても美味しかったです。AEDの使い方の体験や、展示作品は各室に力作が並んでいました。

・おうどんやコーヒー、ラスクでテーブルを囲み、2階から聴こえてくる演奏を聴きながら、「やっぱりステージは楽しいわ」との声もあり、来年も頑張らねばと家路につきました。

公民館の仕事を見学・体験しました

10月11日

茶屋町小学校2年生 町探検 児童34名・サポーター12名

11月19日・20日

東陽中学校2年生 チャレンジワーク 生徒3名

小学校2年生が、町探検学習で公民館を訪ねてきました。

中学校2年生は、チャレンジワークで作業を中心に、脳活講座も受講しました。公民館について、どんなことが行われているのか、新しい発見もあつたようでした。

＜感想から＞

（小学生）ちいきのおべんきょうをささえるのがわかりました。

おおきなおにぎいてびっくりしました。たっきゅうができたのしかった。

（中学生）（講座体験が）とても分かりやすく面白かったです。ありがとうございました。



人権週間 令和6年12月4日（水）～12月10日（火） ～児童生徒による作品（ポスター・標語・習字）を展示しました～

12月4日（水）から12月10日（火）までには、人権週間でした。

茶屋町公民館では、豊洲小学校、茶屋町小学校、東陽中学校の人権ポスター、人権標語、習字を11日（水）まで展示しました。どの作品も人権への思いが込められた、温かい作品でした。



令和6年度 東陽中学校 クラス人権宣言

全校で取り組まれていますが一部のみ紹介します

1-1	いじめなし ガラスのハート割らないで
1-2	やめよういじめ 言う前に一呼吸
1-3	人の個性を認め合い 偏見を失くそう
1-4	相手を傷つける言葉を言わない
1-5	見た目、個人の特徴に関する言葉を言わない
1-6	一人一人の個性を分かち合い 平等に認め合えるクラスにすること
1-7	人を傷つける言葉を言わない 見て見ぬふりをしない
9組	困っている人がいるときはみんなで助け合い、相手の気持ちを考えて行動できるいじめゼロのクラスにします
10組	SNSに悪口を書かないようにしよう

